

その人は じいちゃん

人は見かたに よろず

その口元 一瞬 目が入った

~~少年~~ 木公子 だ

何となく 音に 環境に 何か、気がした

でも 紳士 とは ちがうかな と思ひ

じいちゃんに ママに と 言うている

キチン と して いる

夕べに ひとつも がら だーじおに 在

暮るよ おいて いる

他の 1人だけ と ちがうと 気がした

高く 評価 している

おじいちゃんに 言っている

一人だけ と言っている

そのころは かわらぬ

田舎 かな

その紳士の 顔に ちがうな と 思っているんだ

我が家にも いるけれど 早く 出てく

チボリタに も いる

息子 何れか 一袋 ちがうと スペース

私は お返しお返し

と言つてりる

シエとトんマシの ナボリタシ

お血であん お茶りん くういの 入れもの

入アていん

とこでも行つて 食平を 下り目に 見えたん

ちかつていん

事情があつて けけり しぬいのかま

しよ原い

立派な紳士が おこしくけしつりうは

さあしん

さう一層の やさしい 目びりん

2025
5/27